



こうべ みち・みず・みどりの学校

「総合的な学習の時間」での取り組み

神戸市

見て・聞いて・感じて 学ぼう！

授業のテーマ

テーマ① 人にやさしいみちづくり ～まちのバリアフリー・ユニバーサルデザイン～

■対象学年：4～6年

■授業内容

みんなが暮らしやすいまちにするために、バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方、身近なまちの様々な工夫や配慮を感じながら自分たちができることを考えます。

また、車いすやアイマスクを使用して、まちの探検を行います。



車いすでまちの探検

テーマ② 災害に強いまちづくり

■対象学年：4～6年

■授業内容

地震や豪雨、土砂災害の仕組みや自ら身を守る心構えなどを通じて災害に強いまちづくりを学習します。

また、建物の耐震の工夫を学ぶ模型を使った実験を行います。



模型を使った実験

テーマ③ 使った水のゆくえ（下水道の役割）

■対象学年：4～6年

■授業内容

下水道の学習を通じて、小学生が身近な環境へ関心を高め、美しい環境を守るために自分たちにできることは何かを考えます。



水の「よごれ」を調べる実験

テーマ④ 楽しい川、あぶない川

■対象学年：3～6年

■授業内容

川で楽しく遊ぶ方法を知るとともに川の危険性を知ること、自分の身を守り、安全に川を楽しむ方法を学習します。



川の「楽しさ」「危険性」を学ぶ

テーマ⑤ 正しく使って楽しい公園

■対象学年：全学年可
(学年に合わせた授業を行います)

■授業内容

安全に遊ぶために、遊具の使い方、服装など子ども自身が気をつけることを学習します。



遊具の使い方を学ぶ

学習後の感想

子供たちの感想・心に残ったこと

- 気づかない段差でも車いすでは大変だった
- 地震がこんなにこわいことがわかった
- 汚れた水がきれいになる仕組みがわかった
- 川にいて、にげるときの合図が分かった
- 公園は遊ぶ以外の役割があるんだと思った

先生や保護者の感想・評価

- 今後も同様の取り組みを継続してほしい
- 自分たちの校区の写真で説明してくれたので、分かりやすかった
- 私自身（先生・保護者）も知らないことが多く勉強になった

みち・みず・みどりの学校について

みち・みず・みどりの学校とは・・・

小学校の“総合的な学習”の時間に、子供たちや先生、保護者の方々と市役所の職員が一緒になって、自分たちの住む「まち」や「みち（=道路）・みず（=河川・下水道）・みどり（=公園）」といった社会基盤について学ぶ場所です。

学習を通じて「**みちを大切に使う気持ち**」や「**自分たちの住むまちへの愛着**」など身近な社会基盤に対する理解と愛着をさらに育むことを目指しています。

スライドを用いた講義形式を基本とし、授業により体験学習などを行います。

その他

小学校側で、受講される前に事前学習や事後学習を行っていただくと、より理解が深まりますので、ご協力をお願いします。

①募集

- ・募集は、毎年春に行います
- ・必要事項をメール本文にご記入の上、下記のメールアドレスへご回答ください

- ・実施希望日が重複した場合は時期の調整をお願いします
- ・カリキュラムによっては、年間実施回数が限られます

- ・事前学習やコース図作成、車いす等の道具の準備等、一部学校に協力をお願いします
する場合があります

④実施

- ・実施にあたっては、まちあるきの引率（安全確保）や家庭・地域への普及のため、できるだけ保護者や地域の方々にもよびかけていただくようお願いします

問合せ先

神戸市 建設局 道路計画課

住所：〒651-0084 神戸市中央区磯辺通 3-1-7（コンコルディア神戸4F）

TEL：078-595-6413 Fax：078-595-6409

E-mail：road-planning@office.city.kobe.lg.jp